『来る10年＋小天体関連の各ミッション提案の概要』『太陽系小天体探査プログラムワーキンググループ準備チームの今後の活動』

吉川　真（JAXA）

最後のセッション5では、今後の宇宙ミッションの提案についての議論が行われた。日本惑星科学会で議論されている「来る10年」の検討における小天体関連ミッションの報告（中村）とJAXAの太陽系小天体探査プログラムワーキンググループ準備シーム（WGT）での検討の報告（吉川）がなされた。「来る10年」の検討では、エンセラダス探査、トロヤ群探査、枯渇彗星核探査、イトカワ再訪、フェイトン探査などが検討されているという報告があった。

一方、小天体WGTでは、これまでは枯渇彗星核であるWilson-Harringtonのサンプルリターンが検討されていたが、状況の変化を受けて、トロヤ群探査（サンプルリターンを含む）の検討を開始したとの報告があった。

（「遊・星・人」原稿より抜粋）